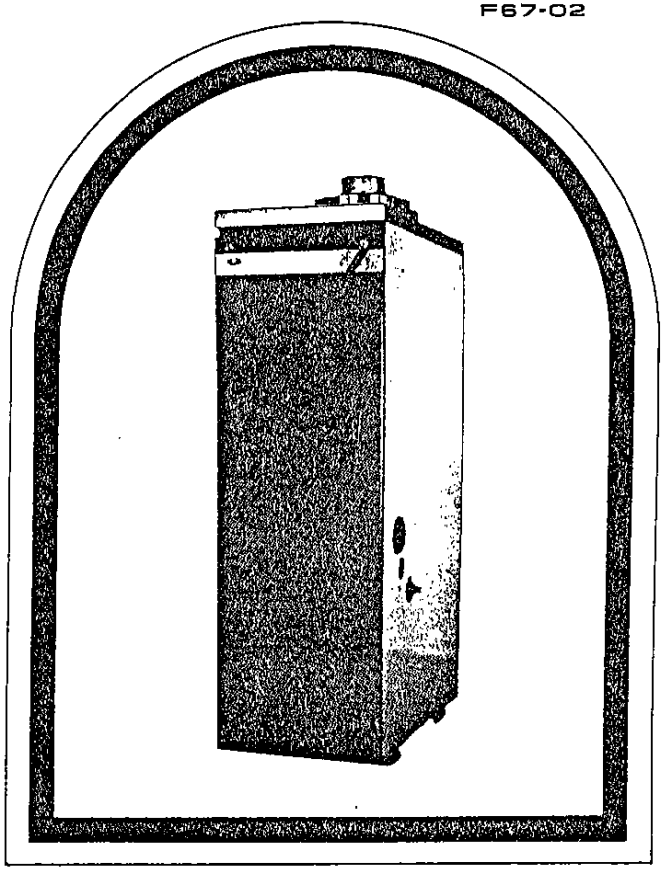
大阪ガス

ガス温水ボイラ
取扱説明書 33-332・333・334型

保証書付

型式 F36-02 F50-02
F67-02



●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があれば販売店もしくは、弊社にお問い合わせください。

ごあいさつ

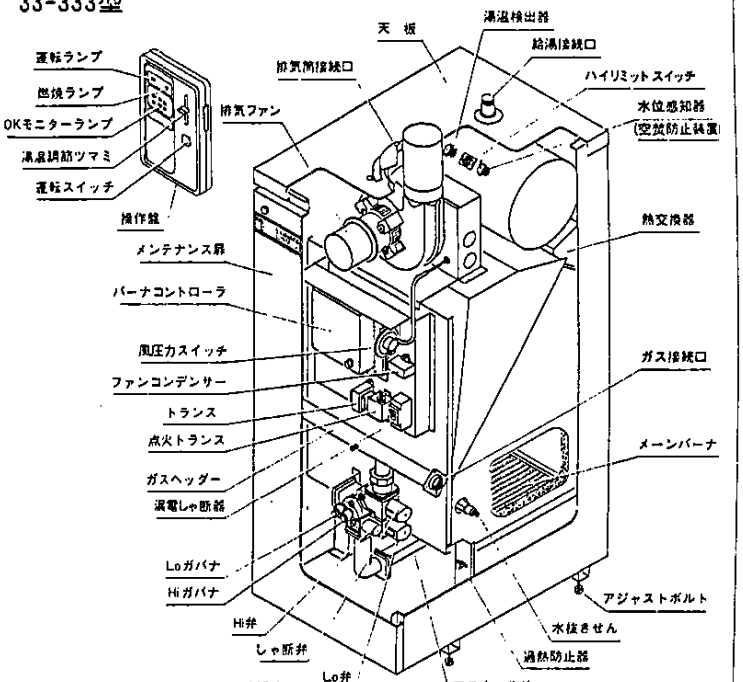
このたびは、ガス温水ボイラ〈高温瞬間式〉
をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に
保存してください。

もくじ

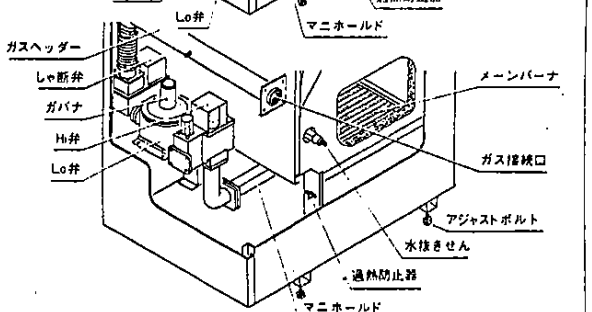
- 各部の名称…… 2
- 特に注意していただきたいこと…… 3～6
- 器具の設置…… 6～7
- 使用手順…… 7～11
- 使用時のご注意…… 12～13
- 日常の点検・手入れ…… 13～14
- 故障・異常の見分け方と処置方法…… 15
- 長期間使用しない場合…… 16
- アフターサービスのお申し込み…… 16～17
- 寸法図…… 18～21
- 仕様一覧表…… 22
- 特長…… 23
- 本製品と快適なくらしのために…… 24

各部の名称

33-332型
33-333型



33-334型

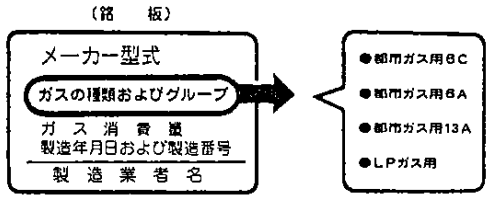


特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

●この器具はAC100V,60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

●器具にご使用になる水は，必らず水道水をお使いください。万一ほかの水をご使用になる場合でも、水道水に準じた飲水をお使いください。
（但し純水をご使用になる場合は，お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ，もしくは大阪ガス支社，サービスステーションにご相談ください。）

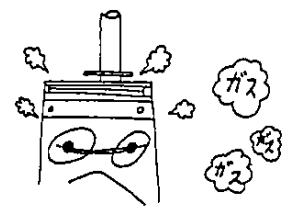
〈ご注意〉硬水でお使いになりますと、腐食やつまりの原因になりますので、保証の対象にはなりません。
●飲料水としてお使いのさいはヤカンなどに受けて、今一度煮沸してから飲用にお使いください
〈ご注意〉使用水の水質、配管材料などにより水質がかわることがあります。

使用場所についてのご注意

●器具には屋外設置型と屋内設置型とがあります。別冊の工事説明書「使用場所についてのご注意」の項をお読みください。

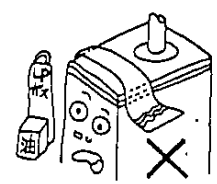
ガス漏れ予防

●使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしていないか時どき確かめてください。
●使用後は必ず運転スイッチを切り、運転ランプ、燃焼ランプが消灯したことを確かめてください。

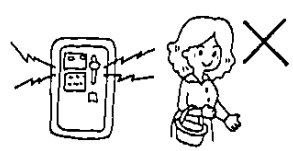


火災予防

●器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。



●火をつけたまま就寝、長時間の外出は、絶対にしないでください。



特に注意していただきたいこと③

火傷のご注意

●器具の使用中および使用直後は、排気筒が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

換気のご注意

●お部屋の換気口(給気口・排気口)は物などでふさがないでください。

ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐにご使用を中止(運転スイッチを切り,ガス元セン閉止)し、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください

凍結についてのご注意

●厳寒期には、器具内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯センから水を流し放しにするか、器具の中の水を抜くなどして凍結を防止してください。
(凍結による破損防止方法については、9～11ページを参照)

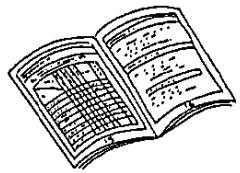
●凍結したときは
①器具や配管が、破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。
②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

異常時の処置

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、すぐにご使用を中止(運転スイッチを切り,ガス元センを閉止)して十分な点検をお願いします。

特に注意していただきたいこと④

故障・異常の見分け方と処置方法については15ページをお読みください。



日常の点検・手入れ

●器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。
(点検・手入れの方法については、13ページをお読みください。)

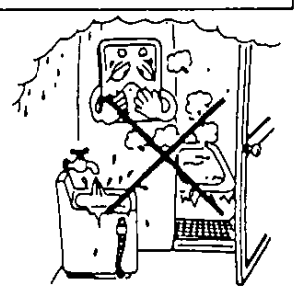
器具の設置

器具の設置について

●器具を安全、快適にお使いいただくために、専門の工事業者におまかせするだけでなく、器具が正しく設置されているか、どうか、お客様自身でもお確かめください。
(器具の設置については別冊の工事説明書をお読みください。)

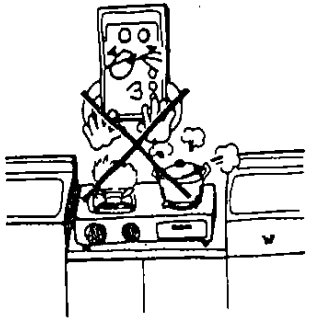
操作盤の設置について

●操作盤は湯気、湿気の少ないところに設置してください。
(ご注意) 操作盤を湯気、湿気の多いところに設置しますと故障の原因になります。



器具の設置②

● 操作盤はガスコンロなど燃焼器具に接近する場所への設置は、おさけください。



● 操作盤は屋外に取付けないでください。

使 用 手 順

はじめてお使いのとき

①給水元センを開いてください。
②給湯センを開いてください。
〈ご注意〉給湯センから水の出ることを確かめてください。
③操作盤の運転スイッチが切れていることを確かめてください。
④電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

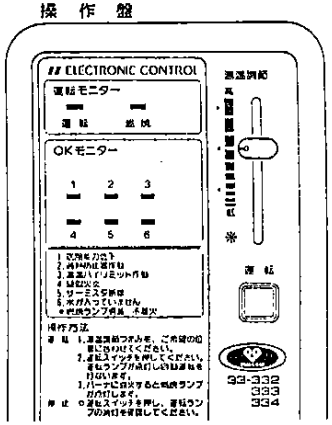
点火前の準備と確認

①給湯センから水の出ることを確かめてください。
②電源プラグが交流100Vのコンセントにさしこまれていることを確かめてください。
③ガス元センを全開にしてください。
〈ご注意〉この器具は停電の時には使用できません。

使用手順②

点　火

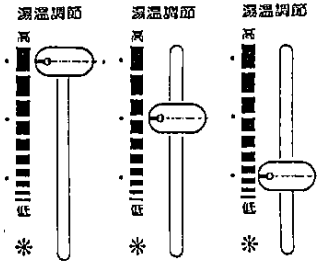
操　作　盤



①運転スイッチを押して「入」にし、運転ランプが点灯するのを確かめてください。約10秒ほどで、燃焼ランプが点灯します。
〈ご注意〉お湯が設定温度になっているときは、燃焼ランプは点灯しません。給湯センを開いて、お湯を出しますと、燃焼ランプがついたり消えたりして、自動運転をおこないます。
〈ご注意〉もし、ブザーが鳴ったときは、一旦運転スイッチを切り、約5秒間まって、再度、運転スイッチを入れてください。数回くり返してもブザーが鳴る場合は、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

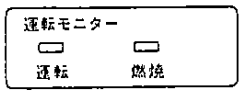
温度調節

①高温時　②中温時　③低温時



湯温調節つまみをご希望の位置に合わせてください。
①「高」(約80℃)熱いお湯をお使いになるとき。風呂、さし湯
↑
②「中」(約55℃)風呂
↑(中間)シャワー
③「低」(約35℃)洗濯、手洗
〈ご注意〉「高」でお使いになるとき、能力以上にお湯を出しすぎますと、お湯の温度は上りません。給湯センでお湯が出すぎないように制限して、お使いください。

消　火



①運転スイッチを押して「切」にしてください。
〈ご注意〉運転ランプと燃焼ランプが、消えていることを確かめてください。

停電時の処置

- ご使用中に、停電になったときは、自動的に運転がとまりますので、危険はありません。
- 停電中は給湯センをとじてください。お湯はでなく、水がでてきます。
- 通電されてもこの器具は運転に入りません。再度使用するときは、運転スイッチを押し「入」にしてください。

断水の場合

- 断水になったときは、運転スイッチを切ってください。
  運転していても、危険はありませんが、火がついたり、消えたりしますので電気、ガスが無駄になります。

冬期の凍結による破損防止について

1.給湯センから水を流す方法(一般的な凍結防止方法)

「この場合は単に器具本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます」

①運転スイッチを切ってください。
②給湯センを少し開いて水を流してください。
　1分間に牛乳びん1本(200cc)以上、寒い日は多い目に流してください。
③流量が不安定なことがありますので、30分ぐらい後に、流量を確認してください。
　水を浴そう(2人用)に入れますと、一晩でいっぱい程度になります。翌日雑用水として、お使いください。

2.湯温調節つまみを＊印の位置にあわせる方法
(器具のみの凍結防止方法)

- 通常のご使用が終わりましたら、運転スイッチを「入」にしたままで、湯温調節つまみを＊印の位置にあわせてください。
  (器具内の水温が約15℃以下になりますと、自動的に火がついて、水温を15℃以上に保ちます。)

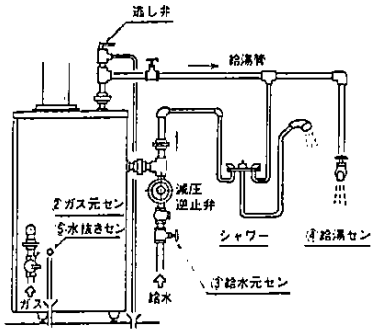
〈ご注意〉給水配管、給湯配管の保温工事が不十分ですと、配管内で凍結することがあります。凍結するおそれのある露出配管、減圧逆止弁、逃し弁および給水元センなどは特にご注意ください。

3.循環ポンプを常にまわしておく方法

- 給湯配管を復管式でご使用の場合は、器具の運転をとめて、常時水をポンプで循環しておいてください。

4.器具の中の水を抜く方法
(入居前や長期不在の場合、異常寒期の場合)

「この場合は、給水部分の凍結防止はできません」



- 次の手順で水を抜いてください。

①運転スイッチを切ってください
②ガス元センをとじてください
③給水元センをとじてください
④給湯センを開いてください
⑤水抜きセンツマミを開いて水を抜いてください
⑥減圧逆止弁の水抜きセンより水を抜いてください。
〈ご注意〉水を抜き終りましたら、給湯セン、水抜きセンなどは元通りにとじてください。

- 再度お使いになるときは、7ページの使用手順にしたがってお使いください

使用手順⑤

〈ご注意〉異常寒期には　1.給湯センから水を流す方法　および
2.湯温調節つまみを＊印の位置に合わせる方法の併用
をおすすめします。

凍結した時のご注意

●凍結したままで、お使いになりますと、危険ですので絶対に使用しないでください。
〈ご注意〉運転スイッチが 切れていることを、確かめてください。
●給水元セン、ガス元センをとじてください。
●凍結が解けた後、再度お使いになるときは、次の手順でおこなってください。
①給水元センを開いてください。
②給湯センを開いてください。
③給湯センから水の出ることを確かめてから、給湯センをとじてください。
④器具、配管などに、水漏れがないことを確かめてください。
〈ご注意〉水漏れが、発見された場合、給水元センをとじ、水漏れ修理が済むまで使用しないでください。
⑤ガス元センを全開にしてください。
⑥7ページの使用手順にしたがって、お使いください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

●ご使用中、自動的に運転がとまってしまったときは、次の方法及び15ページ故障・異常の見分け方と処置方法により処置してください。
●安全装置が作動した時は、ブザーが鳴ります。ブザーが鳴った場合、以下の項目をご確認ください。
○バーナ安全装置（バーナに火がつかないとき、運転途中に消火したときガスの通路をしゃ断し、ブザーが鳴ります。）
①運転スイッチを切ってください。
②ガス元センが全開になっているか確かめてください。
③排気トップ近くに障害物がないか確かめてください。
④再度運転スイッチを入れてください。
〈ご注意〉上記の操作を数回くり返しても、ブザーが鳴る場合はお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。
○過熱防止装置（湯温調節が故障したとき、また器具が異常に過熱したとき、ガスの通路をしゃ断し、ブザーがなります）
①運転スイッチを切ってください。
②ガス元センをとじてください
③お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください

使用時の一般的な注意事項

●落雷のおそれのあるときは、ご使用を中止し、電源プラグをコンセントより抜いてください。
〈ご注意〉雷に対して、安全装置は取り付けてありますが、至近距離に落雷しますと安全装置の能力をこえ、器具を破損することがあります。
●ご使用中および使用直後は、排気筒まわりが熱くなりますので、手をふれたりしないでください。
●燃えやすいものや、引火性のものを器具の近くに置かないでください。

使用時のご注意②

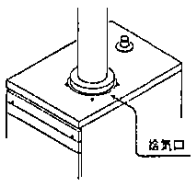
●器具の上(天板)にものを置かないようにしてください。
〈ご注意〉器具の給気口がふさがり、不燃焼をおこす原因になります。

日常の点検・手入れ

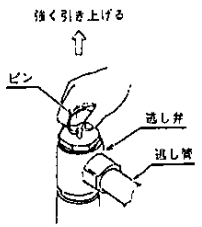
点検・手入れの際のご注意

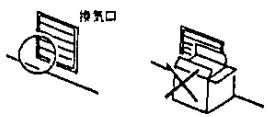
●お手入れは、やけどをしないように器具がじゅうぶんに冷えてから、おこなってください。

点　検

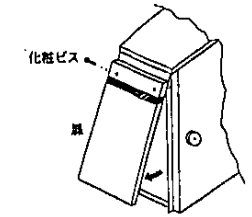


●器具の給気口にちりやほこりがたまっていませんか？
●器具の上や、近くに燃えやすいものが置いてありませんか？
●へやの換気口をふさいでしまうものが置いてありませんか？
●排気筒や排気トップが変形したり、破損していませんか？
●逃し弁のピンを引きあげて逃し管から水が勢いよく出ますか？

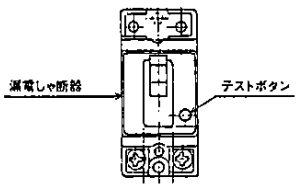




日常の点検・手入れ②



漏電しゃ断器は器具に内蔵(2頁参照)されていますので次の手順で点検してください。
①扉の化粧ビス(2本)をはずす。
②扉を一担上へ持ち上げた後、扉の下部を手前に引くようにしてぬきとる。
③漏電しゃ断器のスイッチを「入」にしたままで、テストボタンを押し、スイッチが「切」になるのを確かめてください。



定期点検について

●器具は、ご使用に支障がなくても、1年に2回位、バーナや各部の作動が正常がどうか点検するのが安全に長期間ご使用いただくための秘訣です　お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に点検、診断を依頼してください
なお、大阪ガスには、定期点検のための保守契約制度がありますので、ぜひご利用ください

お手入れ

ときどき
●器具、給気口のちりやほこりは、きれいにふきとってください。
給気口にちりやほこりがつまりすぎますと不燃焼の原因になります。
●器具の上や、近くに置いてあるものは、取除いてください。不燃焼の原因や、火災の原因になります。
●漏電しゃ断器は、しゃ断器のスイッチを「入」にしたままで、テストボタンを押し、スイッチが「切」になるのを確かめてください。(月に1～2回)
●排気筒や排気トップが変形したり、破損していると、酸欠中毒や器具故障の原因になりますので修理がすんでからご使用ください
●逃し弁のピンを引きあげて、水が勢いよく出ることを確かめてください。(月に1～2回)

故障、異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因 ＼ 操作盤モニター表示	OKモニターが点灯せずに燃焼ランプだけが点滅する			OKモニターのランプが点灯する						OKモニターのランプが点灯しない				処置方法	処置者
その他の現象	着火しない	着火するがすぐ消火する	使用中に消火する	1箇ランプが点灯する	2箇ランプが点灯する	3箇ランプが点灯する	4箇ランプが点灯する	5箇ランプが点灯する	6箇ランプが点灯する	運転ランプが点灯しない	湯が出ない又は出が悪い	湯は出るが温度が低い	頻繁に着火する		
ガス元センが開いていない	○													運転スイッチを一旦切ってから全開にする	お客さま
ガス元センの開き不十分			○										○	9ページ「停電時の処置」参照	
停電している										○				電源プラグをコンセントに差し込む	
電源プラグが抜けている										○				給水センを全開にする	
水元センの開き不十分											○			8ページ「温度調節」参照	
お湯の出しすぎ												○		給水給湯センを開き通水する	
器具に水が入っていない									○						
漏電しゃ断器が作動										○				点検又は修理部品交換を依頼する	販売店又は設社
ヒューズが切れている										○					
ガスストレーナーのつまり			○										○		
供給ガス圧が低い													○		
給水ストレーナーのつまり											○				
水圧が低い											○				
スパークロット、フレームロットの絶縁不良又は汚れ	○	○	○												
ファン不良又は易動				○											
過熱防止器作動					○										
過温ハイリミット作動						○									
サーミスタ断線								○							
バーナーコントローラ不良	○	○	○				○								

長期間使用しない場合

- 操作盤の運転スイッチを切って、ガス元センを必ず閉めてください。
- 給水せんを閉じてください。
- 10ページ記載の器具の中の水を抜く方法の要領で器具の水を抜いて湯アカなどを排出してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 15ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください　なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください
  - (1) 品　　名 ……（ガス温水ボイラ）
  - (2) 品　　番 …… 器具左側面下部に貼付してあります。

（例）

  - (3) 現　　象 ……（できるだけ詳しく）
  - (4) 道　　順 ……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。
  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください
  この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

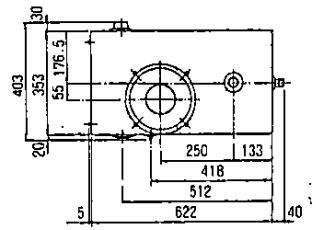
●この器具には保証書がついています。
このガス湯水ボイラは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

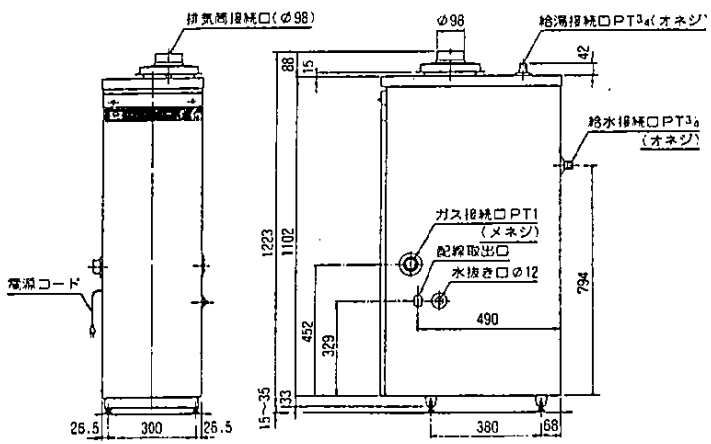
連　絡　先

●本社ガスサービスセンター、支社所在地および電話番号は裏表紙に掲載してあります。

寸　法　図

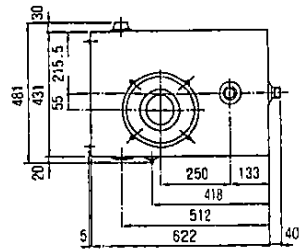
寸法図(33-332型)

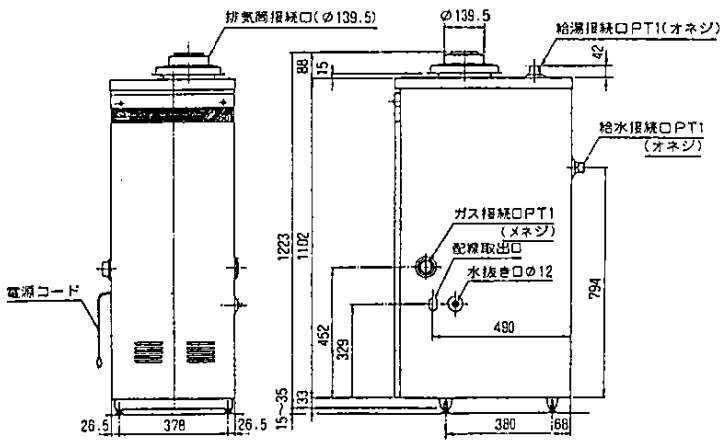




寸法図②

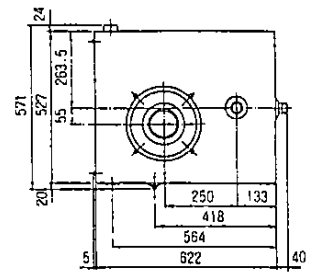
寸法図(33-333型)

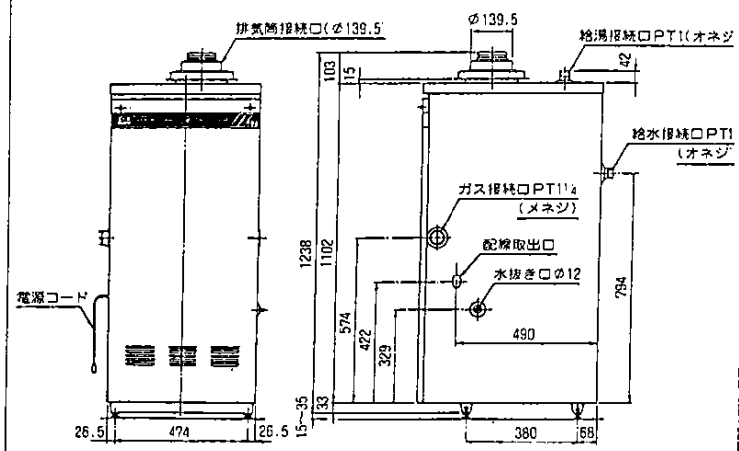




寸法図③

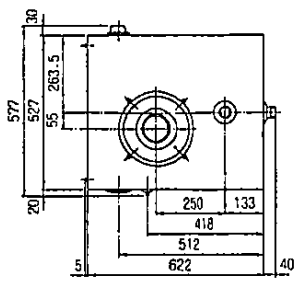
寸法図(33-334型) U仕様

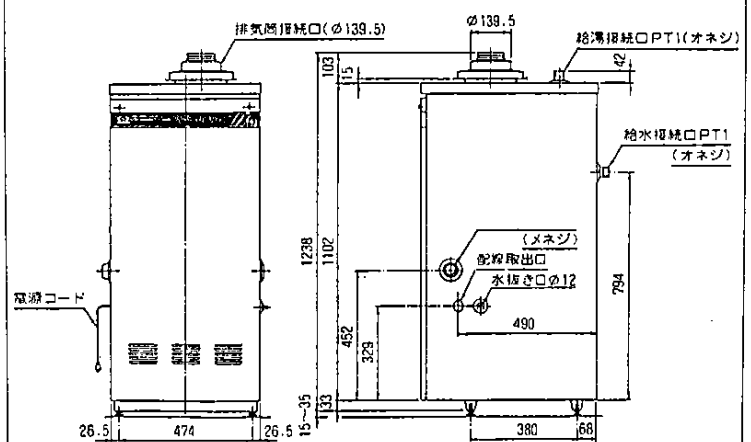




寸法図④

寸法図(33-334型) 13A、LP専用仕様





仕様一覧表

品名		ガス温水ボイラ(高温瞬間式)		
コード		33-332型	33-333型	33-334型
設置方式		屋内設置型		
点火方式		連続放電によるダイレクト点火		
燃焼方式		プンゼン		
貯湯量(ℓ)		19	23	26
最高使用水頭圧(mH2O)		10		
伝熱面積(m²)		0.63	0.90	1.17
寸法(mm)	総高さ	1248	1248	1263
	本体高さ	1160	1160	1160
	本体総幅	403	481	571
	奥行	622	622	622
重量(満水時)(kg)		64(83)	75(98)	94(120)
接続	給水(A)	20(PT¾,オネジ)	25(PT1,オネジ)	25(PT1,オネジ)
	給湯(A)	20(PT¾,オネジ)	25(PT1,オネジ)	25(PT1,オネジ)
	水抜き(φmm)	外径 12 内径 7.5		
電気関係	電源	AC 100V 60Hz		
	消費電力(W)	75	100	150
	電源コード長さ(m)	標準左取り出し 約 2.0		
排気筒径(φmm)		100	140	140
安全装置	バーナ安全装置	炎整流式(フレームロッド方式)		
	漏電しゃ断装置	漏電しゃ断器(15mA)		
	空焚防止装置	水位感知器(電極棒による流電方式)		
	ハイリットスイッチ	バイメタル 100℃		
	過熱防止装置	バイメタル 125℃		
減圧逆止弁設定圧力		0.7kg/cm²		
湯温調節範囲		約30~60℃		
温度調節器最高設定温度		82.5℃		
付属品		操作盤、取扱説明書、工事説明書、保証書		

項目 / コード番号	ガスの種類		消費ガス量(m³/h)	標準インプット	熱出力(Kcal/h)	出湯能力(ℓ/min) 上昇温度 25℃	40℃	50℃	ガス接続	備考
33-332型	都市ガス用	6C	10.6	45,000Kcal/h	36,000	24.1	14.9	9.7	25A PT1,メネジ	●熱出力は標準ガス圧力、水温5℃上昇温35℃時の出力を示します。
		6A	6.8							
		13A	4.3							
	LPガス用			3.40kg/h	32,500	21.8	13.5	8.7		
33-333型	都市ガス用	6C	14.7	62,000Kcal/h	50,000	33.4	20.7	13.6	25A PT1,メネジ	
		6A	9.4							
		13A	5.9							
	LPガス用			4.65kg/h	45,000	30.1	18.6	12.3		
33-334型	都市ガス用	6C	19.9	84,000Kcal/h	67,500	45.1	28.0	18.4	32A PT1¼,メネジ (13A専用 25A PT1,メネジ)	
		6A	12.7							
		13A	8.0							
	LPガス用			6.30kg/h	61,000	40.5	25.2	16.5	25A PT1,メネジ	

特　　長

1 貯湯湯沸器（急加熱形）でステンレス製缶体ですので，清潔なお湯が短時間で得られます。

2 インジェクト式給水方式の採用により省エネルギー及び湯温の安定化をはかりました。

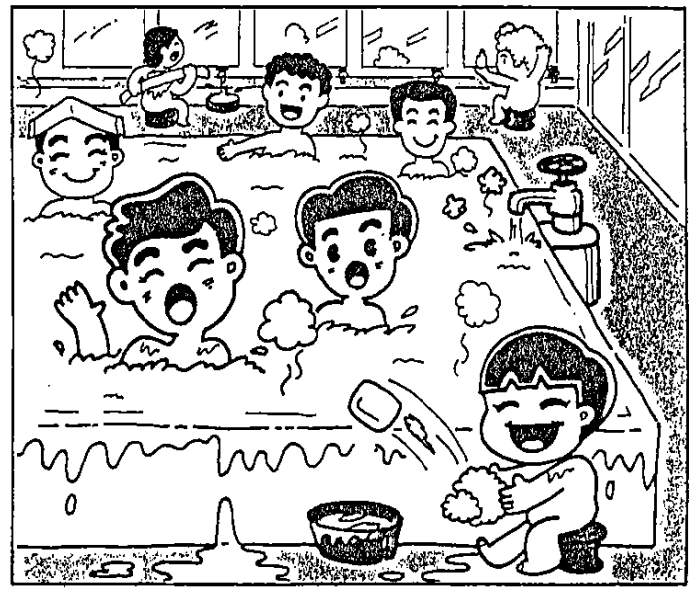
3 従来型（33-312型，33-313型，33-314型）に比べ約35％の省スペース化をはかりました。

4 従来型（33-312型，33-313型，33-314型）に比べ約30kgの軽量化をはかりました。

5 強制排気方式（ＦＥ）の採用により排気筒径が小さいので，イニシャルコストが安くなります。

6 ＯＫモニターを採用しましたので，万一の異常の内容が一目でわかります。

本製品と快適なくらしのために



快適で清潔な暮らしのパートナー

どんな所にも快適で清潔なお湯が必要です。その意味でお湯は人々の暮らしの、パートナーといえるでしょう。
昔から私達は、さまざまなかたちでお湯を利用して来ました。そして現代はより便利で確実な給湯システムが求められています。いつでも、たくさんのお湯を経済的に供給できるシステムをぜひご利用になってください。
安全で楽しいお湯のある暮らしを、今すぐお届けします。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め，窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

業務用機器メンテ教育資料

ガス温水ボイラー
高温瞬間式
強制排気式
(4)(N)(7)(P)33－332(U)型
33－333(U)型
33－334(U)型

平成5年2月
大阪ガス株式会社